

令和元年度 第1回北海道立釧路芸術館運営協議会議事録

日 時 令和元年7月24日(水) 午後2時00分～午後3時40分  
場 所 北海道立釧路芸術館 アートホール

○出席委員 11名

○館出席者 7名

○釧路芸術館共同事業体運営委員会  
運営委員会 委員長代理 1名

- 【議 事】(1) 平成30年度事業報告
- ア 展覧会事業
  - イ 芸術・教育普及事業
  - ウ 施設の利用状況
  - エ 作品収集状況
- (2) 令和元年度事業計画
- ア 展覧会概要及びスケジュール
  - イ 芸術・教育普及事業・施設維持管理業務
- (3) 第4期北海道立美術館等 作品収蔵計画について

1. 開 会

館長より、令和元年度第1回北海道立釧路芸術館運営協議会の開催する旨の挨拶。

2. 挨 拶

運営委員会 委員長代理より、令和最初の協議会で忌憚なきご意見を頂き、運営の向上に努めていきたい旨の挨拶。

3. 協議会成立について

館長より、令和元年度第1回北海道立釧路芸術館運営協議会の開催にあたり、委員数14名中11名が出席となり、運営協議会規則第7条2項により成立する旨を宣言し、議事に入った。

4. 議 事

- (1) 平成30年度 事業報告

館長より、展覧会事業について説明。「倉本聰の仕事と点描画展」では平成29年度の「高倉健展」や今年度の「江戸の遊び絵づくし展」と比較して前売券の販売が振るわず、結果的に総観覧者数が目標を大幅に下回ったこと、その他各展覧会と関連事業の報告がなされた。

次に、教育・普及及び自主事業の実施状況について説明。阿部海太郎ピアノコンサートや「世界でいちばん美しい村」上映会&アフタートーク、道東地域の学校へ学芸員が出向いて所蔵作品を解説する出前講座等の報告がなされた。

また、学芸主幹からは、昨年度購入した米坂ヒデノリ作「頌韻（三管オーケストラ）」や新規収蔵作品等について報告が行われた。

その後、館長より、管理の目標達成度評価や来館者アンケートについて報告がなされた。

会長 資料12ページの「管理の目標達成度評価」ですが、指定管理のということですか。

館長 そうです。先程もご説明しました通り、大きく3つの観点から点数化して評価されます。教育普及事業や利用者満足度等の指標については高得点だったのですが、展覧会の観覧者数が目標の24,900人に対して16,245人であったことで評価点が下がり、結果的にAAAの評価を逃してしまいました。

委員 昨年度の展覧会の中では観覧者数目標と実績の乖離が最も大きいのが、「倉本聰の仕事と点描画展」ですが、展示作品数が多かった記憶があります。釧路芸術館の展示室の面積から考えた適正な作品数の基準というものはあるのでしょうか。

学芸主幹 こちらの展示室は740㎡で、基本的に額縁に入れた絵が展示されることを想定した造りになっております。仮に100号の絵で考えますと、60~70点で一杯になるかと思えます。ただ、最近の傾向としましては、絵を展示して楽しんで頂くと共に、作家に関する細かい資料を加えることで、より深く知ってもらい、あるいはより満足感を得てもらおうといったこともございますので、どのくらいの作品数でお客様が満足できるかというのは、試行錯誤している状況にあります。

委員 点描画ということで、非常に微細な表現が多く、百数十点も鑑賞していると結構目が疲れてしまいました。確かに作品数のボリュームが

あるのは良い事なのですけど、果たして適正な量だったのかが気になります。

観覧者数が少なかったことと直接関係はないのかもしれませんが、そういったことも考えてみてはどうかと思いました。

委員

作品の収集についてですが、13年ぶりに購入があったという報告が先程ありました。米坂ヒデノリさんという釧路にゆかりのある作家の代表作を収蔵できたことは、貴重な作品が散逸してしまうのを防いだという意味でも、大変喜ばしいです。

道立美術館の作品収集に関して、今回出席されている委員の皆様はあまりご存知ないかと思しますので、説明させていただきます。

道には元々5億円の作品購入基金がありまして、そのうち3億円は特別収集用ということで、単年度の予算ではなかなか購入できないような作品のために確保しており、それには滅多に手をつけることはありません。使えるのは通常収集用の残り2億円なのですが、10年近く財政難のために購入が許可されない状況が続きました。

しかしアートギャラリー北海道のこともあり、美術館の活性化を図らなければという機運が高まってきて、4年前から作品購入が再開されました。以降総額およそ6千万円を使って道立5館が順番に作品を収蔵していったというのが現状です。

ただ、購入した後に基金が減った分を補充するというのを本来は行うのですが、今は財政状況から買戻しが出来ず、通常収集用のお金は2百万円程しか残っていないので、次の購入の目途が立っていません。

今後特別収集用の3億円をどうするのかという議論も始まっていくのでしょうけれど、先が見通せない中で米坂ヒデノリさんの作品を購入できたことは良かったと思います。

委員

米坂ヒデノリさんの「頌韻」はしばらくぶりの購入作品ということで、お披露目など広報はどういうことをされましたか。

学芸主幹

新収蔵の作品ですということで広報しまして、江戸の遊び絵づくしと同時に展示室の一角で、そこだけ無料という形で皆さんに見て頂きました。

## (2) 令和元年度 事業計画

学芸主幹より、展示室やフリーアートルームで開催する展覧会事業について説明。そ

のうち「タグチ・アートコレクション 球体のパレット」については、展示室の白いレンガの壁面や高い天井を生かすように作品を展示したことを挙げた。

引き続き、教育普及・自主事業について説明。中でも、道立美術館・芸術館のコレクションを絵葉書サイズにした「アートカード」や「道産子追憶之巻の複製シート」など、美術に親しんでもらうことを目的にした鑑賞学習支援ツールの貸し出しが新しい試みとして紹介された。

委員                   アートギャラリー北海道に関して、釧路美術館と市立美術館との「夏のワークショップめぐり」ですが、地域に根差した施設の連携ということで、とても大事なことだと感じました。

今までも毎年秋に両館と地域のギャラリーをスタンプラリーで巡る「マチナカギャラリー」という企画を行ってきましたが、今年からなくなってしまったこともあり、それに代わる形でこのような釧路の魅力ある美術作品を鑑賞してもらう機会を増やして頂ければと思います。

会長                   現在開催中の「タグチ・アートコレクション 球体のパレット」の観覧者数は順調ですか。

館長                   正直な所あまり芳しくない状況です。実際に見て頂ければ、非常に喜ばれる展覧会ではないかと思えます。

先月までの「江戸の遊び絵づくし」は久しぶりに観覧者目標を達成しましたが、年々そうしたハードルが上がっていますので、是非委員の皆様にご宣伝マンになって頂いて、お声掛けして下さいです。

会長                   現代美術の展覧会をするのは、釧路では久しぶりの気がします。今までの傾向を見ると、どちらかと言うと渋い感じの作品や知名度の高い作品の方がご高齢のお客さんに人気がありまして、しばらく前に現代美術の作品を開催した時はあまり反応が良くなかった気がしますが、今回の展覧会は会場が明るくて、現在も活躍し色々な問題をとらえている人たちの正に「コンテンポラリー」な作品が多かったので、非常に若々しい印象を受けました。

私の学生達にも課題という形で、見てもらう取り組みをしていますが、是非若い人に鑑賞して頂きたいです。

委員                   先程のアンケートですが、多くの方が駐車場の狭さを指摘してい

ました。色々難しい面もありますが、何らかの対策をしていかなければならないと思います。これから益々高齢化が進み、一層のバリアフリー対応が急務となってきますので、何かお考えがあればお聞かせ願いたいです。

館長

市営錦町駐車場の料金は、特別展観覧1時間までのお客様が無料、その他アートホールなどをご利用の方は2割引ということで、釧路市からサポートして頂いております。

ただ、アンケートにもありますように、1時間では物足りないというお声があつて、市の方には何とかもう1時間追加でお願いできないかと要望はしておりますが、良い回答は得られていません。

それと以前耳にしたのが、高齢のお客様で立体駐車場が苦手という方がいらっしゃいました。また、釧路市民は少しでも目的地の近くに駐車したいという思いが強いですので、一つ建物を挟んでしまうと遠いという認識になってしまいます。

会長

開館当初からの構造的な問題で、なかなか解決が難しいということですね。皆さん妙案はございますか。

委員

フィッシャーマンズワープMOOの駐車場とは連携できないのですか。

館長

管理者の河畔開発公社の方とは、何とかお願いできないかと話し合いましたが、難しいというお返事でした。

委員

遠方から来るお客さんは、車から降りてすぐ建物に入りたいというのが一番にあります。極端な話、芝生部分を取り去って駐車スペースに転用は出来ませんか。

館長

緑地部分は市の港湾担当部署の所有になっていると思いますが、相当厳しい要件が求められるので、無理ではないでしょうか。

委員

道路に面した階段横のところはどうですか。

館長

車を横付けにしてもスペース的に厳しいです。壁を取り払うしかないでしょう。

委員

どうしてもドアツードアを理想としてしまいますので。

館長 遠方に限らず、釧路の方も玄関口に駐車したいという人ばかりです。

委員 道立近代美術館は駐車場がないのですが、4月～11月の間は土日だけ路上に駐車してよいことになっていまして、そういうようなことを検討はされましたか。

館長 実は建物の前に道路があるのですが、市の港湾担当部署が管理しているものですから、相当厳しいと思います。

会長 釧路市の対応としては、芸術館は道立施設だからという認識があるのでしょうか、釧路市全体としてみれば、すごく貴重な文化資源であったり、観光資源であったりするわけですから、そういう感覚があれば、駐車場を共通で利用してもらおうという発想があってもいいのではと考えます。

小さな町ですので、行政の垣根を取り払って、この地域全体に人が回るようになった方が良くはないかと思っておりますので、その辺りを踏まえながら、市の方に粘り強く要望して頂きたいです。

会長 先程、鑑賞学習支援ツール貸出のご説明がありましたが、私も早速お借りしまして、大学の授業で学生たちに使ってもらったところ、非常に楽しく学習できたということで、好評を得ております。

是非、小学校や中学校、高校の先生にも利用して頂いて、釧路芸術館も含めた道立館のコレクションに親しんで欲しいと思っております。また、学校以外にも貸出可能ということですので、ワークショップなどでも活用できますよと宣伝して頂きたいです。

委員 ホームページは充実したものをお作りになっていいますが、SNSはどのようになっていますか。

館長 ブログの他に Facebook と Instagram で広報を行っております、その二つは釧路芸術館ボランティアの会 SOA の方にアカウントを作成して頂いて、そこを借りて私たちの方で更新しているという状況です。

委員 出展作品を掲載するにあたって、著作権の縛りはありますか。

学芸主幹 著作権の縛りのない作品を選んで掲載しています。

館長 ホームページは昨年度から色々整備を進めまして、多言語化も実施しています。韓国語、中国語、英語、日本語を選択できる環境にしています。

会長 今年度の事業計画はこのあたりにしまして、次は第4期の作品収蔵計画について、お願いします。

(3) 第4期北海道立美術館等 作品収蔵計画について

学芸主幹より第4期作品収蔵計画の全体像や、釧路芸術館における基本方針の説明がなされた。

(4) その他

会長 全体を通してご意見ですとか、発言しておきたいことはございますか。よろしいでしょうか。

それでは、運営委員会 委員長代理から、昨年度から指定管理をされて、観覧者数のことですか、駐車場の問題などどのようにお考えになられているかお聞きしたいと思います。

委員長代理 我々が指定管理者になり1年と少し経ちましたが、館長という基盤があり、無事運営できていると感じます。

代表会社の主要目標に、「いかにイベントに人を集めるか」というのがありまして、集客の部分に寄与していかなければならないと思っております。

具体的にどのようなことに取り組んだかと言いますと、館長から先程説明がありましたが、ホームページのリニューアルをさせて頂きました。ホームページに掲載されるイベントは刻々と替わっていきますので、一概に評価はできないのですが、アクセス数が以前と比べて増えています。結果的にリニューアルした甲斐があったと認識しております。ただ、アクセス数が増えたからと言って、実際に来館するお客様が増えるかということは、別の問題です。

今までも釧路や道東を中心に広報活動を行って来ていますが、加えて札幌で開かれるイベントや学会においても、様々な告知を行い、釧路に集客できるようにしていきたいと思っております。

会長 駐車場に関しても、釧路市を始め各行政団体と交渉して行かなければ

ればなりません、指定管理者としてどのようにお考えですか。

委員長代理 集客力がありますということを利用して、駐車場の増設も含め、交渉していければと考えております。

委員長代理より閉会の挨拶があり、北海道立釧路芸術館令和元年度第1回運営協議会は終了となった。